

二〇二三年七月二三日

| | |
|------------------|------|
| 蝉しぐれ大波小波繰り返し | はく子 |
| 目薬師の百度石たつ青葉影 | なつき |
| 昨夜雨の雫滴る酔芙蓉 | ぼんこ |
| 元気よとキャンプ場から子のメール | こすもす |
| 流暢に西瓜を値切る印度人 | 素 秀 |
| 大いなるスーパームーン暈涼し | はく子 |
| 滴りの落ちて転べる苔の庭 | わかば |
| 暑に耐へて卒寿の朝の深呼吸 | 宏 虎 |
| 太陽の塔の諸手に夏の雲 | よう子 |
| 炎昼やじつと我慢の力石 | よし子 |
| 嵩びくに夏服詰めて旅支度 | む べ |
| 無住寺の縁を濡らせる夏の月 | 愛 正 |
| 朝粥に塩味を足す大暑かな | よう子 |
| 風鈴と賛美重なる修養会 | む べ |
| 手に汗のヘアピンカーブ峠道 | かかし |

毎週句会秀句・みのもる選・二〇二三年七月二四日